

# 大切な環境を守るために

資源の少ない日本で日々増え続けているごみ。ごみは私たちの毎日の暮らしから出てくるものなので、私たち自身が減らす努力をしなくては改善されません。ごみを減らすためにはどうすればいいのでしょうか。



## 大口町のリサイクル率は愛知県でナンバー1

愛知県では、毎年3月に市町村別に一般廃棄物処理事業実態調査の結果（10万人未満町村）を公表しています。大口町はリサイクル率（発生したすべてのごみ量のうち、資源化されたごみ量の割合）が平成21年度から連続7年1位でした。1人1日あたりの家庭ごみの量（平成27年度）は幸田町についで2位。この結果は、



皆さんがかねてより分別収集に一生懸命取り組んでいる結果です。「住民の皆さん一人ひとりが資源回収に協力し、長年続けていただいていることはとてもありがたいことです。皆さんのごみ減量に対する意識が高まった結果と思います」と、役場 環境経済課担当者。今後もさらなるごみの減量・再資源化に取り組んでいきましよう！

## 可燃ごみ減量のポイントは「生ごみ」

平成28年度、町内の皆さんが出した可燃ごみは8958トン。ごみを処理するのにかかった費用は2億6633万4658円。町民1人あたり年間約1万1256円でした。

可燃ごみは、月曜日から土曜日まで各地域の決められた曜日にごみ収集車（1台または2台）で回収され、河北地区にある江南丹羽環境管理組合環境

美化センターへ運びこまれます。

ごみを積んだまま車ごと自動印字式計量機で計量し、ごみを生ごみピットへ投入し再び車を計量。この差がごみの量になります。

センターで年6回実施している可燃ごみの分析調査で、生ごみの約80%は水分ということが分かっていました。水分を多く含む生ごみを燃やすには、かなりのエネルギーを消費し、温室効果ガス（二酸化炭素  $CO_2$ ）を排出します。こ

の水分を減らすことがごみの減量や処理費用、温室効果ガスの削減

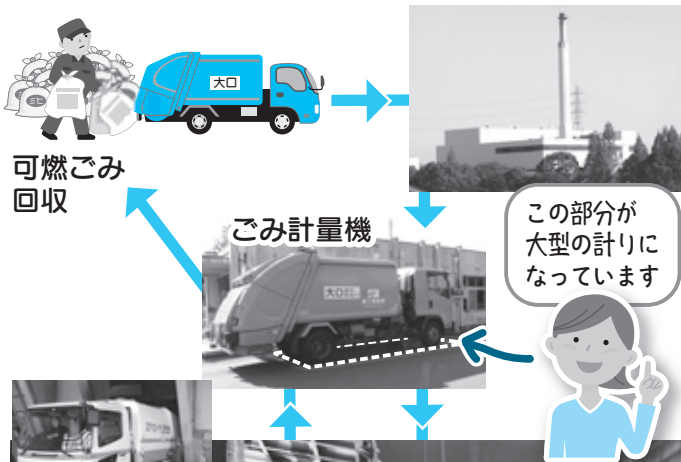


▲野菜の切れ端など水に濡らさない工夫を

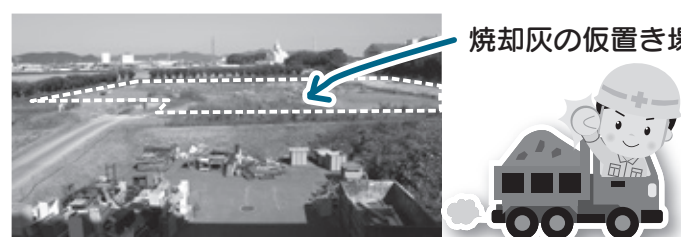


▲可燃ごみの内容物調査をする職員

大口町の可燃ごみは環境美化センターへ



写真の間違った分別で焼却炉に残ってしまった資源ごみ  
 焼却するための空気穴をふさいだり、炉を傷つける原因になります。



平成28年度に出た可燃ごみの灰は3,100トン。  
 まとめて愛知県知多市臨海埋立場へ運ばれます

町民1人当たりのごみ排出量



1人1日たまたご4つ分のごみを減らせば目標達成ね！結構な量だけと少しずつ減らしてみるわ！

につながるわけです。  
 この他にも、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品(食品ロス)や、資源となる「紙類」と「プラスチック類」も多く含まれています。  
 資源の分別は分かりにくく面倒なので、つい可燃ごみとして捨ててしまう方も多いのではないのでしょうか。紙くずは別に分けておくなど、できることから少しずつ始めてみましょう。小さな積み重ねが、大きな「エコ」につながります。また、燃えるごみ

の量を減らすことにより焼却場の寿命を延ばすこともできます。  
**資源ごみを資源に生かすのはあなた！**  
 家庭から資源ごみとして分別された紙類、缶類、ビン類、プラスチック類は資源です。リサイクルに回すことで、さまざまな物に生まれ変わりを再利用できます。そして資源ごみを売却して得た収入を処分費用に充

てることができます。しかし、資源になるものでも、きちんと分別されていないければ売却費用は減り、ただのゴミになってしまいます。  
 そこで、大口町には各地域のごみ集積所のほか、資源リサイクルセンターがあります。月曜日から土曜日(午前9時から正午 午後1時から4時 祝日・年末年始は除く)まで利用でき、スタッフが正しい分別を教えてください。1日の利用者は平日約300人、土曜日は約600人。

町全体の約4割のごみが集まります。資源化できるごみの搬入はリサイクルセンターも利用して、資源を大切にしましょう。  
 またセンターでは、障がいを持つ方の就労支援の一環として社会福祉法人おおくち福祉会ハートフル大口の方がスタッフとしてコーナーに立ち、分別の仕分け補助をしたり、溜まったごみ袋を所定の位置に並べたりするなど、利用者が搬入しやすいよう作業をしています。

さらに、12月はセンターが1年で最も混雑する時期です。特に年末ともなると1日800人の利用がありスタッフも総出で作業にあたります。混雑を避けるため、資源ごみはあらかじめ種類ごとに分別して持ち込むなど、スムーズな搬入にご協力ください。

### 4R運動とは

皆さんは『4R』という言葉を知っていますか。これは「ゴミを減らすための具体的な方針、リフューズ(Refuse 断る)、リデュース(Reduce 減らす)、リユース(Reuse 再利用)、リサイクル(Recycle 資源)の4



▲資源リサイクルセンター



▲プラスチック類を回収する業者。この後、分別業者へ運ばれます。1台で1回300袋分のプラスチック類が運べます。

つの頭文字をとったものです。ごみを減らすためには、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切です。自分の生活を振り返って

みたときに、必要以上にものを買ったり、まだ使えるものを捨てたりしていませんか？ごみを減らす「4R運動」を心がけて、環境にやさしい、無駄のない暮らしを目指しましょう。

### 取材にて

今年の7月は、大口町でも集中豪雨の影響で五条川・合瀬川が越水。

雨が多く日照不足で野菜が高騰。10月中旬から下旬にかけ、短期間に2回も台風が発生し天候不順が続きました。田んぼが乾かないため「稲刈りができないせんがや」「この時期に野菜の種を蒔きたいけど、大雨で流れてまう」という声が聞かれるなど、地球温暖化が私たちの毎日の生活に無

関係でなくなってきました。環境に与える影響をできるだけ少なくする生活を送ることが今私たちに求められています。節電、節水、ごみ減量はそのための第一歩です。未来の地球環境を守るため一人ひとりがごみ減量、再資源化の意識を持って、日々の生活を見直しませんか。

